

(毎月 10 日・25 日発行)

復興ニュース

81 号
2013 年
1 月 10 日
メール

発行：NPO 法人夢ネット大船渡
大船渡市盛町字内の目 14-15
HP「夢ネット大船渡」と検索を
npoyumenet@bz01.plala.or.jp

謹賀新年



復興元年と言われた平成 24 年も、目に見える復興は少なかったが、災害復興住宅建設等への話し合いが各地で行われ、数力所ですが着工もありました。しかし、復興 2 年目になる今年が本格的な着工が見える年にしたいものです。

被災から 3 年目になる平成 25 年、一日も早く仮設から安心して住める高台へ住むことが出来るように、みんなで協力し合って進めたいものです。

元気なまちづくりフォーラム 講師：元 三重県知事 北川正恭氏



- ◆日時：平成 25 年 2 月 21 日 (木)
13:00~14:15 北川正恭氏講演
14:25~15:00 3 団体活動発表
15:00~15:30 意見交換
- ◆場所 カメリアホール (JR 盛駅隣り)
- ◆主催 岩手県
主管 NPO 法人いわて NPO フォーラム 21
協力 夢ネット大船渡他

講師紹介

1944 年、三重県生まれ。早稲田大学第一商学部卒業。三重県議会議員 (3 期連続)、衆議院議員 (4 期連続) を経て、

1995 年、三重県知事へ就任し、改革派知事として注目される。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。

また、達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2003 年にはこの「マニフェスト」が、日本新語・流行語大賞を受賞するまでに浸透した。三重県知事を 2 期務めた後、2003 年 4 月に退任。

現在は、早稲田大学大学院公共経営研究科教授、「新しい日本をつくる国民会議」(21 世紀臨調) 代表、

◆活動発表は次の 3 団体です。大船渡市=NPO 法人さんさんの会、陸前高田市=八起プロジェクト、住田町=五葉山自然倶楽部 各 10 分間活動を発表します。さらに会場には多くの団体の活動紹介展示もあります。当日は、お誘いし合って多くの方々のご参加を心からご案内いたします。

「東北ろうきん復興支援助成金」を受け 「復興ニュース」を発行

今年 1 月から 3 月まで「東北ろうきん復興支援」から助成を受けて「復興ニュース」(毎月 10 日・25 日付各 5000 部) を発行いたします。イベント情報は、次号 1 月 25 日付発行ですから、2 月 3 日以降のイベント情報を、1 月 20 日までに fax 等でお知らせ下さい。

協力者を募集しています。①情報提供者「ボランティア記者」、②配布者「ボランティア配布者」(現在 20 数名の協力を頂いています) を募集しています。

Tel・fax (0192) 47-3271 (夢ネット大船渡)

1月の無料法律相談 案内

- ◆1月19日(土) 14:00~16:00
 - ◆1月20日(日) 10:00~12:00
- ①相談は原則一人40分間です
相談はカメリアホールで行いますが、受付はふれあい待合室です。
- ②事前申込が必要です
申込先: (0192) 47-3542
三鉄盛駅ふれあい待合室

無料法律相談 常に受付中

平成25年も無料法律相談を行います
—昨年10月から199件の相談がありました。
ローンの減免・生活再建・集団移転・相続・土地の貸借・家族関係など、親切に相談対応しています。
月2回平均弁護士が来ています。
主催: ヒューマンライツ・ナウ(東京)
協力: 夢ネット大船渡

笑って・生きがい 「傾聴・手芸支援」

夢ネット大船渡は、23年4月から愛知ネットの支援で立ち上げました「気仙市民復興連絡会」の活動を、参加の気仙地域市民活動団体と一緒に、「炊き出し」「思い出探し」など行いました。同年8月から、夢ネット大船渡の独自活動(JPFの助成を受けて)として、3名を雇用して仮設住宅を訪問しながら情報誌「みらい」(現在は発行を休んでいます)配布、被災者孤立防止等の活動を開始しました。その後手芸講習、傾聴活動など被災者に寄り添った活動を、これまで1年5カ月間行って来ました。

その活動を行って来ました職員から、これまでの傾聴・手芸講習を振り返ってのお話を聞いてみました。



夢ネットの事務所
左から岩城・千葉・村上

◆訪問活動(傾聴)

訪問世帯数 延べ376世帯(24年7月~12月)

★訪問しますと「しばらく来なかったね」と言われると、「覚えてくれたんだ」と嬉しくなりました。

★訪問した際に「あがらんえ」と言われた時には、部屋へ入って話を聞くようにしています。中に案内されるように顔知り合いとなったことも、大変良かったなあと感じています。

★一人で暮らしていると「話し相手がなく」、今日は「しゃべって」よかったと言われます。「しゃべる」機会が無いのが寂しです。しかし、誰でも話し相手になるものでもないようです。



小友町茗荷へお地藏様
作成者の中西保裕氏(大阪)

★被災後息子のところ(関東方面)へ行って、何不自由なく暮らしていました。近所にも避難して来た人も居りましたが、被災前後の気仙の事情を知っている人と話したいとの一念で、被災地へ戻って来た人が多くおります。知り合いとお話することがいかに大切か分かりました。

★「家族が亡くなったのは私のせいである」と悩み、これが原因か? 引きこもりになった人がありました。訪問の度に「また寄るからね」「また寄れよ」と声を掛け合ってきました。その後「もう大丈夫だから」と言われ安心しました。

★何度も来るのは「あなただけだ」と信頼されるようになった人もありました。

★抽選で仮設へ入居しているので、被災前の近所の方々の情報を知りたがっている人が多く、〇〇さんはどこに住み、元気だよ」と答えるが、知らない際は、情報を聞き、次の訪問までに調べてくることを約束して帰って来ました。

★訪問先が男性宅の際は、夏であれば窓が開いているので話が出来るのだが、冬には窓が閉まっているので声をかけ難いです。

★年配の人との話し合いが多かったので、「漬物」の作り方など、長い人生経験を聞くことが出来、大変勉強にもなりました。

◆手芸講習

★手芸を楽しみに「畑仕事をその前に決めた」「おやつを作って来た」等々、月に1度の手芸講習を楽しみに待っている方が多かったです。一人狭い仮設住宅暮らしには、被災時の辛い事を思い出されるが、手芸講習では、みんなで楽しい話し合いが出来、何よりも笑うことが出来てよかった。そして来月も講習を開くの？何を教えてくれるの？どこでも次回開催を要望されました。

★陸前高田市内の仮設住宅には集会所が無い所が多かったが、この頃空き住宅が出来てきたので「談話室」が出来、手芸講習が出来るようになりました。

ある仮設では、復興ニュースを配布している際に「手芸講習をやってくれない」と声をかけてくれた人がありました。離れた被災者にも案内して頂き本当に助かりました。

★手芸講習開催で集まる機会を作ることが出来、加えて作品を完成することにより喜んで頂けるので、今後も手芸講習を続けていきたいです。

★お世話する人から時々悩みの電話を受けましたが、お世話する人には風あたりがあるものです。気にしては何もできませんので「気にしないこと」と言っています。

★ある仮設の人から「私は手芸づくりで被災の苦しさから立ち直れた」と言ってくれた時には、本当にうれしかった。

★手芸講習で覚えた作品を、自分たちで作って、支援者へお礼に贈って喜ばれた。とのお話しも聞きました。特にポーチは「金具と布」を少額の支出で作れることもあり、喜ばれています。

★手芸品を作りながら新築した家のどこに置こうかと考えながら作っているという人もおりました。



手芸出品者の相談会
於：ふれあい待合室

◆手芸講習開催・販売状況 平成24年7月～12月（6ヵ月間）

●助成（手芸講習・手芸品販売等）を受けた先

★ジャパン・プラットフォーム（7月～12月） 39ヵ所開催：延376人参加

主にお母さん方のいきいき支援として開催しました

★中央共同募金会（8月～11月） 22ヶ所開催：延251人参加

主に内職者育成を目的として開催しました

●手芸講習開催場所 延べ61ヶ所で開催 延べ参加者627人

●手芸品の販売（平成24年4月～11月）※販売支援は三鉄ふれあい待合室が担当しています

★大船渡市内のイベント販売 13回（夢商店街や社協フェスタ等）

★遠隔地への販売 コープあいち・大阪元気人間、伊東社協、東京・酒田等の支援者による販売
夢ネット大船渡への登録者＝手芸出品者31人・手作り椿ブローチ作成者30人

「復興手芸品カタログ」完成



被災地の手芸品内職支援として、これまで三鉄ふれあい待合室での販売、東京・大阪・名古屋・山形・伊東社協等の支援者（団体）のご協力により、手芸品の販売を行って来ました。

ふれあい待合室への手芸品の出品種類も70ほど、内職者も50数人となったことから、一層販売に力を入れたいとの思いで「復興手芸品カタログ」を作成いたしました。

カタログは三鉄盛駅ふれあい待合室へ置いてあります。

さらにこれまで手芸品等でお世話になりました方等へ発送の予定です。

ぜひ多くの皆様の知り合い等へも発送にご協力下されば幸いです。



三鉄盛駅ふれあい待合室 Tel47-3542

涙と笑いの「人生芝居」 劇団「ともえ座」公演



三陸鉄道南リアス線は、今年4月部分開通（盛から吉浜間）へ向けて、各所で工事が行われています。沿線住民として一日も早い復旧を待ちわびる気持ちから、一足早く部分開通をお祝いするイベントを開催します。主催：夢ネット大船渡



公演は、一昨年10月にボランティアで行って頂き、被災者へ勇気を与えてくれました、宮城県栗原市に本拠地を置く、劇団「ともえ座」（石川陵山座長）を呼んで、公演することにしました。

三鉄南リアス線 部分開通 イベント

3月16日 カメリアホール 入場無料

◆期日：平成25年3月16日（土）

13：30 開場

14：00 開演

約2時間の熱演

◆場所：カメリアホール

◆入場無料 「入場整理券」が必要です

1月15日午前10時から、三陸鉄道盛駅ふれあい待合室でお渡しします。一人2枚とします。なお、公演当日に入場整理券を抽選券と引き換えし、当選者へプレゼントがあります。

1月15日から入場整理券配布

ふれあい待合室でお渡しします

震災復興シンポジウムin大船渡

平成25年2月17日（日）13：30～
大船渡市市民交流館・カメリアホール



男女共同参画

震災から2年目、完全復興まであと数年かかると言われています。この為には、男性も女性も高齢者、若い世代までの誰もが、支え合い助け合って「男女共同参画社会の理念」が大事と思い開催します。

第一部：基調講演には、東海新報社記者の鈴木英里さん「新聞記者がみた東日本大震災」～大船渡市民の絆と再生をみつめて～

第二部：シンポジウム（報告・提言）

主催：おおふなと男女共同参画「うみねこの会」

後援：大船渡市他

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成 第10次

●タイトル：赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成 第10次

●助成内容：・東日本大震災で被災された方がたを支援するボランティア活動等全般。

1.短期（おおむね1か月未満）の活動：50万円以内

2.中長期（1か月以上）の活動：300万円以内

●締め切り

第10次 2012年12月25日（火）～2013年1月25日（金）

●問い合わせ：社会福祉法人 中央共同募金会

詳しくはこちらから！<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>



——「復興ニュース」へ 皆さまのご意見・ご要望等を fax 等でお寄せください——